

岡山城東高校の入学者選抜には次の3種類があります。

- 1 特別入学者選抜
- 2 海外帰国生徒のための入学者選抜
- 3 一般入学者選抜

1 特別入学者選抜について

(1) 日程

- | | |
|-----------|-----------------------|
| ① 出願の期間 | 令和9年1月26日（火）～1月28日（木） |
| ② 学力検査 | 令和9年2月9日（火） |
| ③ 面接・実技 | 令和9年2月9日（火）・10日（水） |
| ④ 選抜結果の通知 | 令和9年2月18日（木） |
| ⑤ 合格者の発表 | 令和9年3月17日（水） |

(2) 選抜の方針

中学校等の校長から提出される調査書、学力検査・面接・実技の結果及び自己申告書等を資料として、目的意識や適性等を重視し、分野の特色を配慮して総合的に判断する。調査書の評定については、第1学年、第2学年及び第3学年の各教科の評定を活用する。

(3) 募集人員

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 普通科国際教養分野 | 30人（入学後、2年次から国際教養学類に所属する） |
| 普通科音楽分野 | 25人（入学後、2年次から音楽学類に所属する） |

(4) 学力検査

国語、数学、英語で実施する。なお、英語は聞き取り検査を含む。

(5) 実技の内容

普通科国際教養分野 英語を聞く・話す・読む・書くの4つの技能を活用して、英語のリスニング・英語による質疑応答などの課題に取り組む。

普通科音楽分野

- ① 新曲視唱
 - ・中学校で学習する程度の演奏記号（強弱記号等）を含む、20小節程度の新曲課題。
 - ・調号は＃、♭ 1つまでとし、長・短両調の中から出題する。
 - ・階名（ドレミ）で歌う。移動ド、固定ド唱法のどちらでもよい。
- ② 声楽又は任意の楽器で5分以内の演奏
 - （ただし、ピアノの場合はバロック、古典派、ロマン派のピアノ作品の中から任意の曲を演奏すること〔緩徐楽章は除く〕）
 - ・演奏は必ずしも曲の初めから行う必要はない。
 - ・ピアノ以外の楽器は各自で持参するか業者に搬入してもらうこと。

(6) その他

- ・普通科国際教養分野において、学力検査の結果が一定以上にあれば、「英語検定2級以上合格又はこれに相当する英語の実績」を重視して5人程度を選抜する。
- ・「演奏内容提出用紙」は、出願時に提出する。用紙は本校ホームページ及び高校教育課高校魅力化推進室のホームページからダウンロードできる。（ダウンロードは、10月下旬以降の予定です。）

2 海外帰国生徒のための入学者選抜について

(1) 日程

- | | |
|-----------|-----------------------|
| ① 出願の期間 | 令和9年1月26日（火）～1月28日（木） |
| ② 面接・口頭試問 | 令和9年2月9日（火） |
| ③ 選抜結果の通知 | 令和9年2月18日（木） |
| ④ 合格者の発表 | 令和9年3月17日（水） |

(2) 出願資格（次のいずれにも該当する者）

- ① 原則として、外国における在学期間が継続して2年以上で帰国後2年以内であること。
- ② 保護者が県内に居住しているか、令和9年4月7日までに県内に居住予定であること。保護者が引き続き外国に居住する場合は、県内に保護者に代わる身元引受人が居住していること。

(3) 選抜の方針

中学校等の校長から提出される調査書、面接・口頭試問の結果及び自己申告書等を資料として、外国での学習や経験を適切に評価するよう配慮し、総合的に判断する。

(4) 募集人員

若干名（入学後、2年次から4つの学類いずれに進むことも可能）

(5) 面接

能力や適性等を把握するため面接を実施する。必要に応じて簡単な口頭試問（英会話を含む。）を行うことがある。また、聞き取り検査や作文等の適性検査を実施することがある。

3 一般入学者選抜について

(1) 日程

- | | |
|----------|------------------------|
| ① 出願の期間 | 令和9年2月24日（水）から2月26日（金） |
| ② 学力検査 | 令和9年3月9日（火） |
| ③ 面接 | 令和9年3月10日（水） |
| ④ 合格者の発表 | 令和9年3月17日（水） |

(2) 選抜の方針

中学校等の校長から提出される調査書、学力検査・面接の結果及び自己申告書等を資料として、高等学校の特色を配慮して総合的に判断する。

(3) 募集人員

募集定員から特別入学者選抜及び海外帰国生徒のための入学者選抜の合格内定者数を引いた人数。
（入学後、2年次から4つの学類いずれに進むことも可能）

(4) 学力検査

国語、社会、数学、理科、英語で実施する。なお、英語は聞き取り検査を含む。

(5) 調査書及び面接等の結果を重視した選抜

学力検査の結果が一定以上にあれば、調査書及び面接等の次の事項を重視して、募集定員の5%を上限とした人数の選抜を行う。

- ・部活動を含む、校内外における文化的・体育的な活動の実績。
- ・海外体験など国際的な活動の実績。

（注）調査書の記載に「具体的な大会等の名称」「個人の具体的な役割と実績」が明記されていないと対象にならない場合がある。

調査書の記入例：「第〇〇回全国中学校軟式野球大会ベスト8 レギュラーで4番サードだった。」